

### 環境調査結果のお知らせ

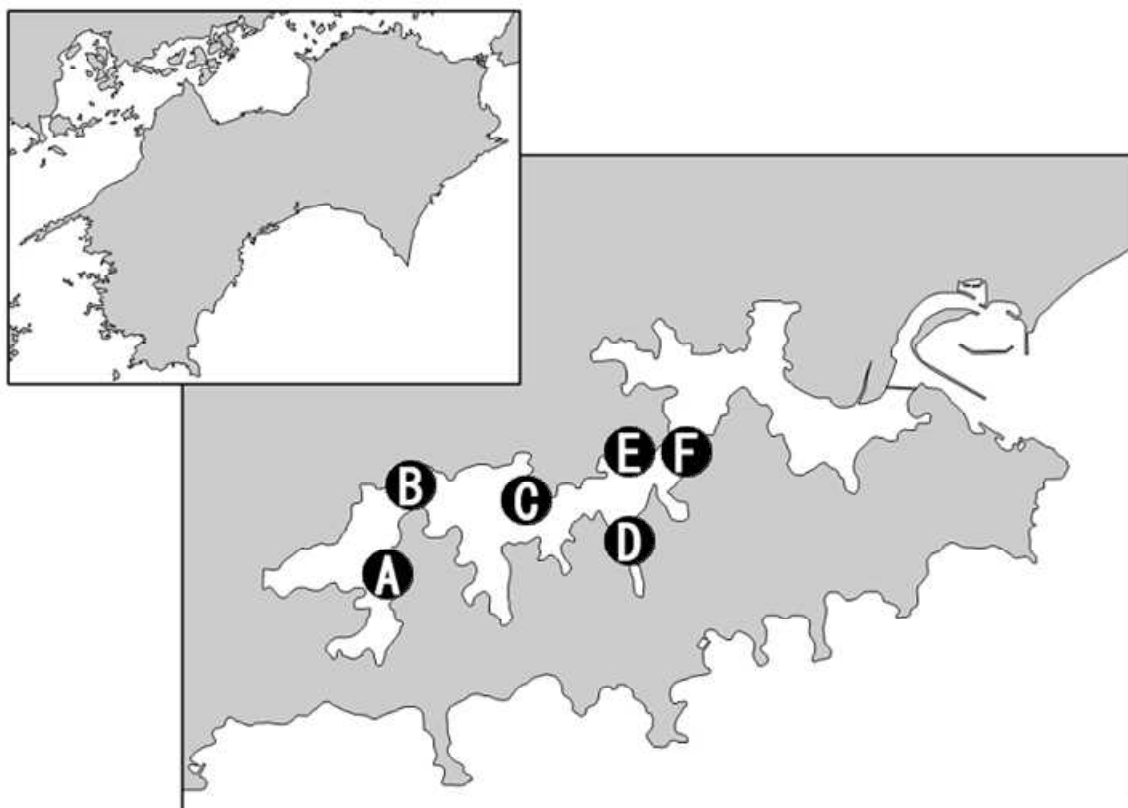
令和6年10月30日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、二枚貝に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で6 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ	珪藻
A 鳴無 (3.7m) 【10:26】	0	24.6	29.9	7.3	0	-
	2	26.7	32.1	6.2	6	-
	5	26.3	32.4	2.6	0	-
	底層 8	26.1	32.5	1.2	0	-
B 中学校前 (4.9m) 【10:36】	0	25.1	30.7	7.0	0	1,900
	2	26.5	32.2	5.7	0	780
	5	26.2	32.4	3.6	0	120
	10	25.9	32.5	2.5	0	10
	底層 11	25.8	32.5	2.4	0	0
C 目ノクツ (5.5m) 【10:51】	0	24.7	30.4	7.1	0	-
	2	25.6	31.6	6.6	0	-
	5	26.2	32.3	4.6	0	-
	10	25.6	32.5	4.3	0	-
	底層 15	25.6	32.5	4.2	0	-
D 福良 (3m) 【11:04】	0	24.1	29.2	7.2	0	-
	2	26.1	31.7	6.4	0	-
	5	26.2	32.4	3.3	0	-
	底層 9	25.9	32.5	2.4	0	-
E 光松 (4.5m) 【11:16】	0	24.9	30.9	6.5	0	1,080
	2	25.5	31.6	5.6	0	1,120
	5	25.8	32.3	4.3	0	60
	10	25.6	32.5	4.7	0	0
	底層 16	25.5	32.6	4.9	0	0
F 大鹿 (4.5m) 【11:30】	0	25.3	31.1	6.5	0	-
	2	25.7	31.6	5.8	0	-
	5	25.8	32.3	4.4	0	-
	10	25.5	32.5	4.9	0	-
	底層 16	25.3	32.6	5.5	0	-



- A: 鳴無  
 B: 中学校前  
 C: 目ノクソ  
 D: 福良  
 E: 光松  
 F: 大鹿

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	<b>1,000 cells/mL</b>	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	<b>50,000 cells/mL</b>	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクテオカ属)	魚類等のへい死	—	<b>5,000 cells/mL</b>	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	<b>10,000 cells/mL</b>	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	<b>500 cells/mL</b>	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	<b>1 cell/mL</b>	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。